**垣見**　瀬戸内海での過去の記録はないが、別府湾でウリュウ島が地震で陥没したとされている。しかし、それは津波で陥没したのではなく、マグニチュード７ぐらいの地震で海底地滑りを起こして陥没した。マグニチュード７程度の地震の縦ずれによる津波は、せいぜいで２、３ｍ程度であろうと考えている。

**原告**　本件審査では、２、３ｍの津波を前提に審査したということか？

**垣見**　結論的に書いていないが、そういう議論のあったことを覚えている。

**原告**　よう分からないが、２、３ｍで審査したのか、しなかったのか？

**垣見**　高潮の数字は出てきたが、その時に津波の影響も考えたらどうか、と議論した。

**原告**　それで、２、３ｍだから大丈夫と？

**垣見**　そうだ。

**原告**　津波の時の引き潮の大きさは？

**垣見**　上げ潮と同程度でないか。

**原告**　その最低潮位で、ちゃんと審査したか？

**垣見**　問題になる取水口の位置は審査したと思う。

**原告**　当然大きいほうの３ｍで？

**垣見**　取水口も考えに入れて津波の影響を議論したのは覚えているが、何ｍということまでは。

**原告**　あなたが審査に関わった沢山の原発については、最低潮位と取水口との関係はやってきたのか？

**垣見**　津波の専門でないが、文献で、下げ潮で取水口が露出して取水できなくなると困るということは認識している。

**原告**　認識ではなくて、審査したのかどうか？

**垣見**　やっている。

**原告**　さっきは、記憶がないと云ったが？

**垣見**　いや。

**原告**　本件２号機では？

**垣見**　議論した覚えはあるが、数値的なことは覚えていない。

**原告**　安全審査の指針には？

**垣見**　指針があるかどうか分からない。

**原告**　それでは思いつきでやっている？

**垣見**　自分が主導してやっているのでなく、議論に参加して説明を聞き判断した。

**原告**　議論の証拠は残っているだろう？

**垣見**　全般に公式的な議事録は残していないと思う。

（第１回反対尋問終り）

## 会計報告（'93.12/1～12/31）

| | |
|---|---|
| 収入 | |
| 会費 | １２、０００ |
| ニュース講読料 | ３７、９００ |
| コピー代 | ７、２４０ |
| 計 | ５７、１４０ |
| 支出 | |
| ニュース印刷代 | １７、５００ |
| 郵送料 | ８、８８１ |
| 振替手数料 | ２９０ |
| 資料費 | ４、８００ |
| コピー料 | ２４、３１６ |
| 計 | ５５、７８７ |
| 差引 | １、３５３ |
| 積立金合計 | ２、０７０、９７９ |




# 伊方訴訟ニュース

第 245 号
1994年１月15日

伊方原発訴訟を支援する会


連絡先 〒530 大阪市北区西天満４－９－15 第一神明ビル
藤田法律事務所 電話 06－363－2112 口座 大阪３－48780


## 年頭の御挨拶

**１９９４年元旦**

**伊方原発反対八西連絡協議会**
**代表　広野勇一**

賀正

明けましてお目出度うございます。

本年も一層のご支援をお願い申上げます。

私たちが伊方原発の建設に反対して運動を始めて以来、２５年の歳月が経過しました。１９年続けてきました伊方１号機裁判は、一昨年、最高裁によって最終的に敗訴の判決が下されました。実質的には原告住民が勝利したとはいえ、厳しい状況の中で、昨年も、伊方２号機の設置取り消し裁判が、松山地裁で３回開かれました。弁護団なしに原告住民自らが強大な国を相手にした法廷闘争は容易ならざるものがありました。

その闘いの中で、７月には原告堀内義雄氏の夫人キヨ子さんと堀内氏当人が、相次いで死亡されるという最悪の出来事に出会ったのであります。

また、伊方原発には、１９９１年末現在で「低レベル放射性廃棄物」のドラムカンが、１１、３８８本も保管されていますが、その５０４本が、８月に青森県の六カ所村に向けて積み出されました。伊方でいつまでも保管できないものは、他の場所でも同様であり、そうした廃棄物を生み出す原子力発電所を廃止せよ、というのが私たち運動の原点です。

福井県では現在１４基の原発が稼働中ですが、先日行われたアンケートでは、原発が多すぎると答えた人が６９％もあったとのことです。しかし、その一方で、敦賀３号炉の増設を問う住民投票の請求を敦賀市議会が否決し、現在原発を４基も設置している高浜町の町長が、住民投票の否決を歓迎して、民主主義の基本は少数意見の尊重だが、その横暴は許してはならないと公言しているとのこと。私たちは、原子力平和利用は自主、民主、公開の三大原則を厳守すべきであり、権力者がまかり通ることは許せないと考えています。

昨年も、世界、日本そして伊方で、原発がかかえる問題は山積し、とても、安全宣言など出せる状況ではありませんでした。そして私たちは、私たちの運動が、人類そして生物の共生する未来に向っての一大運動であるこ

**２号炉第５１回公判**
**１月２８日（金）午前１０時から**
**松山地裁大法廷**

国側垣見証人に対する住民原告側からの２回目の反対尋問が行われる。前回に裁判長は、反対尋問は２回で終るようにと要望したが、中央構造線や地震など、重要な問題が残されているので、奮闘する原告らを激励する傍聴を！

とを再確認しています。

年頭にあたり、多くの支援者の皆様に、物心とものご協力を願い、御挨拶と致します。

## 垣見証人反対尋問の内容

**－２号炉第５０回公判（1993年8月27日）－**

（その４）

### 原発に及ぼす地震の影響は？

**原告**　証人は、主尋問で、敷地の周りの自然現象によって原子力発電の潜在的危険が顕在化しないように審査する、と証言したが、具体的にどういう危険を考えているのか？

**垣見**　たとえば、地震で原子炉格納容器にひびが入り放射線が外に出て、その結果放射線障害を周りの人に与える、といったこと。

**原告**　地震でひびが入るのは格納容器だけか？

**垣見**　いろいろなものが壊れるので、その一例として。

**原告**　格納容器の中にあるものはどうか？

**垣見**　もちろん、すべてそうだと思う。

**原告**　耐震設計が１．５倍の部分がある、と証言したが、具体的には、どの部分か？

**垣見**　格納容器と原子炉を安全に停止する装置、その辺が一番重要なものだと思う。

**原告**　原子炉の中にある放射性物質が、どれぐらいあるか知っているか？

**垣見**　正確に量的には知らない。

**原告**　相当莫大なもの、という認識は？

**垣見**　持っている。

**原告**　事故を起こしたら、どの程度が外に出ると考えているのか？

**垣見**　事故を起こさないように設計する。

**原告**　地震による事故では？

**垣見**　仮定の問題を考えたことはない。

**原告**　スリーマイル原発事故のことは聞いているか？

**垣見**　もちろん。

**原告**　安全審査の際に、本件でもスリーマイル島のようなことが起るかもしれないという認識はあったか？

**垣見**　スリーマイル島のような炉心溶融につながらないよう耐震設計しなければと思っている。

**原告**　事故を起こせばスリーマイル島のような事態になるという認識を持っていたか？

**垣見**　危険性がある以上、全くないとは言えないと思っていた。

**原告**　あなた以外の審査員は？

**垣見**　それは分からない。

**原告**　審査にあたって、原子炉の事故についての話や講習を受けたことは？

**垣見**　４、５年前にはあるが、審査当時にはない。

**原告**　チェルノブイリの事故は？

**垣見**　チェルノブイリ原子炉の視察団に、地震の専門家として参加した。

**原告**　チェルノブイリの地盤は？

**垣見**　沼のすぐそばの第四紀層に、基礎も作らずに建てた。日本と違い地震の発生頻度が非常に低いので許可されたのだろう。

**原告**　事故の際に、原子炉の天井が吹き飛んで大量の放射能が出た、ということは？

**垣見**　知っている。

**原告**　審査に携わった時、まかり間違えばそういう状態になる、という認識は？

**垣見**　可能性は否定できないが、現実にあのような事故が起るとは思っていなかった。



### 海底ボーリングについて

**原告**　午前の尋問の際に、高浜３、４号機で海底ボーリングをやったかよく知らないということだったが、安全審査には通産省の技術顧問として関わっていたのではないか。

**垣見**　申し訳ないが、どうも記憶がない。もし安全上重要な断層とかの調査だったら覚えているから、余り地質調査とか安全確認を目的にしたものではなかったのでは。

**原告**　それでは、これまで審査に関わった原発で記憶のあるところについて証言を。

**垣見**　私の覚えているのは大飯４号機で、海底の第四紀層の年代を測定するために海底ボーリングをやったと思う。そのほか、将来埋め立てするために軟らかい地層の厚さを確認するためにやったところがあったと思う。

**原告**　大飯の場合は、あなたがした方がいいと云ったのか？

**垣見**　いや、自主的に申請の際に。

**原告**　埋め立ては？

**垣見**　どこか覚えていないが、結構あちこちでやっているのでは。

**原告**　大飯では大きな断層があったのか？

**垣見**　海底に断層が発見され、その活動度を出すために、年代を測定する必要があるということで申請者がやったと思う。

**原告**　断層がある可能性があったのか。

**垣見**　いや、断層は分かっていたが、年代測定からその変位速度を調べ、断層の活動性は低いということで許可を出した。

**原告**　伊方では、中央構造線があるのに、海底ボーリングは必要ないと判断したのか。

**垣見**　中央構造線自体は活動的でないので問題ないとした。また、沖合にある地層の乱れは、中央構造線がそこにあるかどうかに関係なく評価する必要があると判断した。

**原告**　だがボーリングはやらなかった。

**垣見**　そうだ。ボーリングをやらなくても評価しなければならないからだ。

**原告**　しかし、その断層の変位速度を推定するということはやらなかったのか？

**垣見**　音波探査の資料が出ていたから。

**原告**　評価するというが、どういう形で？

**垣見**　そこで地震が起ると、マグニチュードはどの程度か、ということを評価した。

### 津波の影響は審査したのか？

**原告**　安全審査では高潮の評価はしたか？

**垣見**　やった。

**原告**　最高潮位は？

**垣見**　プラスの２．９ｍぐらいだった。

**原告**　護岸の高さは？

**垣見**　護岸というより敷地の高さは海面から１０ｍのレベルだから、十分安全性を確保できると判断した。

**原告**　わが国では最高の津波の大きさは？

**垣見**　三陸海岸など非常に細長い地域では、津波の遡上という現象で３０ｍとか４０ｍに達する場合がある。

**原告**　最近の奥尻島地震では？

**垣見**　３０ｍと言われているが地震研究所の調査では２０ｍぐらい。

**原告**　遡上するような入江だったのか？

**垣見**　そうではないが、深いところから急に浅くなるところでも起る。

**原告**　世界では？

**垣見**　それは覚えていないが、伊豆諸島の新島で７０ｍぐらいと言われているが、津波石の伝説なので信憑性は薄いと思う。

**原告**　伊方では、どれぐらいを予想した？